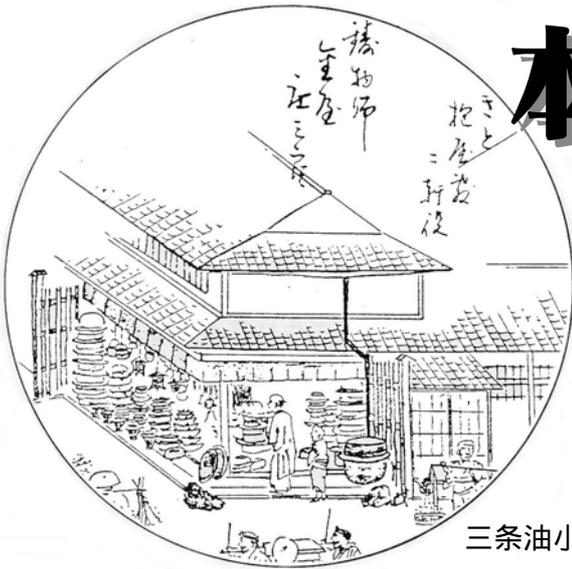


本能まちづくりニュース

第17号 平成15年7月15日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net
URL http://www.honnoh.net



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

惣構えの濠跡 発掘

元本能小学校跡地で、埋蔵文化財発掘調査現地説明会が行われました。天候がよく、信長と本能寺の変など当地の歴史への関心の大きさをあらわすように、6月6日学区民対象で250人、7日一般対象で900人前後の見学者が来られ、まちづくり委員ものぞいてきました。



惣構えを見る参加者

調査担当官によると、今回の西側調査区発掘の結果、蛸薬師通り(四条坊門小路)添いに深さ1.5m、幅4m以上の濠跡や戦国時代の小石混じりの路面が検出され、これは、戦国時代末期、防御のために下京の周囲に掘られていた惣構えの濠の遺構であろう、したがって、本能寺はこの濠より北側に位置し、南端は蛸薬師通りであると推定される。また、調査区の中央に、本多甲斐守の京屋敷の大きなゴミ捨て穴(約8m四方、深さ1.5m)が検出され、ここから、タイ・ハモ・ブリ・カツオ・アジ・スズキなどの魚骨やサザエ・アワビ・ハマグリ・シジミ・カキなどの貝殻等の食物残滓、木製品・土器類などの生活用品が出土。当時の生活の一端がうかがえる、ということです。遺物は本能会議室に展示され、2日目には長い行列が小川通に続いていました。

ところで、本能学区には、「本能寺」がつく町名が3つあります。本能寺町は、もと「六角本能寺町」といい、本能寺の北側六角通りに面した町。元本能寺町は、もと「本能寺突抜町」といい、本能寺

の敷地中央あたりの道が延びて小川通となり、小川通に面する町。元本能寺南町は、本能寺の南に位置し、もと「本能寺南町」といわれており、今は蛸薬師通りと以南の小川通に面するT字型の町です。調査官の解説を聞いて、それぞれの町名由来がわかり、3ヶ町が判別できるようになりました。



展示資料を見るための長蛇の列



展示された、発掘品の数々



本多甲斐守の京屋敷での生活がしのばれる。ニホンジカまでも？

宝塚市中山台の活動に学ぶ

6月14日午後、阪急電車中山駅より車で急坂を約10分。宝塚市立中山台コミュニティーセンターに行き、エコマネーに関するお話をうかがってきました。

中山台は阪急宝塚線北側の丘陵地にひろがる住宅地。昭和50年頃の開発から30～35年を経て、緑の木立に包まれています。宝塚市まちづくり推進部長田中義岳氏・中山台コミュニティー・エコマネー部会会長島一郎氏・副会長岡田暁子氏のお話は、熱のこもったものでした。



宝塚中山台で説明を受ける本能まちづくり委員会のメンバー

宝塚の“ZUKA”

エコマネーとは お金ではあらわしにくい感謝と信頼をつなぐ通貨で、ボランティアな気持ちと行為をつなぎます。通貨のツカと宝塚のツカをかけて“ZUKA”と名づけられました。

運用の仕方

地域やグループが発行し、運営委員会がおかれて窓口となっています。宝塚市では、6ヶ所で行われおり、中山台は中でも活動的なコミュニティーです。

目的は？

子供からお年寄りまで、地域の人と人とをつなぎ、心の通い合うコミュニティーをつくることです。

実際の運用は？

まず、エコマネーを使う仲間の会をつくり、自分の「できること」を出し合い、サービスメニューリストを作成します。会員は、必要な時に自分の「してほしいこと」を提供してくれる人があるかどうかサービスメニューリストで探し、あれば話し合い了解されれば依頼します。提供を受けると、「ありがとう」の気持ちと一緒にエコマネーを渡します。

たとえば、AさんがB君にパソコンの使い方を教えてもらい、ZUKAを渡します。B君は、C氏にキャッチボールのコツを教えてもらい、そのZUKAをC氏に渡します。C氏は、海外旅行のアドバイスを、経験豊富なDさんに受け、もらったZUKAをDさんに渡します。Dさんは、庭木の手入れの仕方をAさんにおそわり、お礼にZUKAを渡す、という具合に、ZUKAが人から人に受け渡されます。

住民同士の助け合いの媒介に通貨を使用し、感謝の気持ちをあらわします。自分の「できること」と「してほしいこと」をエコマネーが結んでいくわけで、人から人への温かなこころの架け橋となり、気持ちの良いつながりをつくりまします。

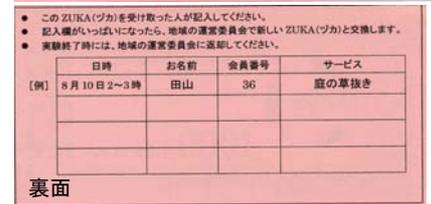
本格的運用まで

2000年8月以来3回の実験と、啓発活動をかさね、2002年8月から実際に運用されています。現在会員数120余。カーボランティア・緑化活動・パソコン指導・幼児教室アシスタントなどのサービスが、住民間で運用されています。あくまで、自発的に、自己責任のもとで、運用されています。

背景

- 人口急増地域で、村社会に新住民が入ってきて、トラブルがあり、住民の相互交流・理解を必要とした。
 - 開発後30年以上経ち、高齢化・環境の老朽化が進んできた。
 - 阪神大震災の後、地域の緑化・環境改善などで、ボランティア活動が活発になってきた。
- こういう気運に行政の後押しがあって、始まったそうです。

今、本能学区では、マンションがたち、世帯数が増えています。子供からお年寄りまで学区住民の交流によって、より気持ちよく、住みやすい地域にしたいものです。人材を発掘し、交流を促進する手段の一つとして、こういうものも考えられる、ということを知りました。



宝塚中山台で使用されているZUKA裏面には、ZUKAを受け取った人が、氏名・サービスを提供した日時・内容を記入し、欄がいっぱいになると、運営委員会で新しいZUKAと交換してもらおう

住みよいまちづくりをめざして!

マンション実態調査 PARTII ご協力をお願い

前回のマンション実態調査から、2年経ちました。その間、計画中だった所にマンションが建設され、完成して入居が始まったり、その後に計画が持ち上がって工事が進められている所もあります。世帯数は1800余に増え、高倉校区全体でも児童数が増える傾向で、今年度一年生は3クラスになりました。

一方、本能学区では京都市との協働作業で、「本能学区地区計画」の策定と『本能学区まちづくりのしおり』を完成させました。これらは、地区整備計画の基礎条件であり、今後のまちづくりの指針となるものです。

新しいマンション居住者を迎え、各町内ではどのような関わり方をされているのでしょうか？学区の行事で、新しい顔ぶれの参加者が来られて喜ぶ一方、「そんなお知らせあったかしら？」と言われるマンション居住者がおられて、学区情報配信方法に反省する昨今です。先月末



“一緒に遊ぼう！”朝の本能公園

行われた五条少年補導委員会本能支部主催の地域懇話会では、本能学区でも乳幼児を抱える若いお母さん達が増え、子育てで孤立化しないよう情報を求めておられることを知りました。

過日お手元に配布した『本能学区まちづくりのしおり』の思い——お互い挨拶ができる関係で住民間の交流があるまち——が実現できているか、あるいはまた実現するために、各町内ではどのような努力・創意・工夫をなさっておられるのでしょうか。

マンションが建つまでは、心配していたけれども、建ってみれば、そうでもなかったとか、予想していなかった問題が生じたとか、こうすれば町内のお付き合いが活発になったとか、いろいろな実状や解決法を知り、さらに、同じような問題を抱える町内同士が情報を交換し合って、よい知恵を生み出したりできれば、と思います。

まちづくり委員会がこの橋渡しを果せることを願って、基礎調査を行い、情報を集めたいと考えます。各町内会長さんをはじめご町内の皆様に、まちづくり委員がお尋ねにまいりますので、ご面倒をおかけしますがご協力をよろしくお願いいたします。

また地区計画を策定すると、それを基盤に、地区整備計画を立てることもできます。地区整備計画に進むには、町内ごとの合意形成が必要です。そのためにも、住民の意思の疎通を日頃から図っておかなくてはなりません。これを機会に町内の具体的ご意見もお出し下さい。それぞれ事情の異なる町内が、まず各町内の実状を確認し、次にお互いを知り合い、そして学区全体として、特性を生かしながら、住みよいまちづくりを進めていきたいと思ひます。

このような調査が、お互いの理解を深めることに役立つよう願っています。



完成間近 四条西洞院
に地上12階91戸



入居開始 堀川三条に地上14階84戸



空也町に建設中



狸々町に高齢者対応型
賃貸マンション建設中

2003 本能夏まつり へのお誘い

実行委員長 岡山 悟

祇園祭の山鉾巡行とともに、子供たち待望の夏休みが始まります。8月後半には町内では地蔵盆が催されますが、自治連合会でも地蔵盆と同じ時期に、「2003 本能夏まつり」を本能公園一帯で開催しようと、準備を進めています。

ご承知の通り、旧来の住民の減少傾向が進むなか、ワンルームやファミリーマンションの新しい住民の方々が増えてこられています。新旧の住民がともに暮らす本能学区で、住民交流を促進していきたい……みんなが住みよいまちをめざしたい……そのきっかけをつくりたい、という思いを込めて、「2003 本能夏まつり」を行います。皆さん、お誘い合わせて是非お越し下さい。

開催日時 8月23日(土)雨天のときは翌24日(日)に順延
夕方から午後9時

場所 本能公園と小川通六角上る

ゲームコーナー

ボーリングゲーム・スマートボール・コイン落とし・当てもの など

盆踊り など



模擬店

サザエ壺焼・鮎塩焼き・焼きそば・焼きとり・フランクフルト・おでん・みたらし団子・カキ氷・ジュース・ビール など

チケットは、町内会長を通じて前売り券を販売します。回覧板をご覧になり、是非ご利用ください。

本能まちづくり委員会の
次回開催は

平成15年8月4日(月)午後7時から
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

編集後記

- 本能校跡地の発掘調査を見学して、洛中洛外図のとりの濠跡がであることを知り、同じ土地の上に人々が連綿と暮らしているということを実感しました。(N村)
- 今年、本能学区が、「中京生活安全モデル地区」に指定されました。“犯罪のない町”あるいは、“犯罪の被害者にならないため”にみんなと一緒に考えていきたいと思えます。

今年になって、ひったくりや車上ねらいいわゆる街頭犯罪が多発しています。本能学区でも6月までに5件のひったくり事件が発生しています。いずれも被害者は、女性で、発生時間帯は夜間が4件、昼間が1件です。昼夜を問わず発生しています。歩行者の被害が1件、自転車に乗車中が4件です。歩行中は、バックなどは車道と反対側に持つ、自転車に乗るときは、前かごには防犯ネットをかけていれば被害に遭わなかったかもしれません。

去る6月18日夜間には、本能防犯推進委員、本能交通指導員、自治連合会役員、中京区、五条警察署の15名が参加して、本年発生したひったくりの現場を中心にパトロールをしました。

また車上ねらいの被害に遭わないためには、車から離れるときドアロックをして、貴重品は車内に置かない。これが基本です。被害に遭わないために今一度、注意してください。

これから、私たち学区民一人一人が自主的に防犯を意識していかなければならないと思えます。これから防犯を考える上で、①町が明るい ②地域住民がお互いに挨拶をしている ③町がきれい この3点が大切だと思います。犯罪者は明るいところを好みません、コミュニケーションがとれているところには不審者は入り込めません、落書きがすぐに消される町では犯行は行い難いものです。 五条防犯推進委員協議会副会長 岡田 稔